令和６年度（2024 年度）学校評価に係る重点目標について

（令和６年 12 月 13 日　北海道立農業大学校）

重点目標	評価項目	令和６年度具体的取組事項（計画）	実施主体・担当
職員の指導力・教育力の向上	**(1) 授業方法の改善**	**＜授業づくり＞** **○　各課及び各班におけるＯＪＴ活動の推進** ・　教務課会議を開催し、資料の作成やその共有方法、スケジュールの立案方法など、仕事の進め方について協議を行い改善に取り組む。 ・　業務ミーティングを毎日開催し、学生に関する情報共有を行い、授業の改善や体調変化の共有を図る。 ・　定期的に班会議を実施し、業務等に関する情報共有を行う。 ・　終礼後に、業務内容の確認と報告を行う。 ・　農作業安全やスマート農業に関する職員向け OJT 研修を行う。 **○　授業改善研修会（公開授業等）の実施** ・　授業改善研修会（公開授業等）を行う。 ・　学生の指導方法について、講師を招き研修を実施する。 **○　職員研修の計画的な実施** ・　職員のスキルアップを図るため、職員研修を計画的に実施する。 **○　職員の資格取得の推進** ・　学生への教育研修業務に必要な専門知識や技術を習得するため、職員の資格取得を推進する。 **○　非農家出身学生等を意識した実習の改善** ・　農業経験の少ない非農家出身学生等の理解促進を図るため、馴染みの薄い専門用語の解説からはじめるなど、農業の実践を意識した教育を行う。 ・　卒業後の新規・雇用就農を踏まえ、高収益作物栽培・機械実習の充実を図る。 ・　牛体管理について、安全面に最大限配慮するとともに、家畜に触れることの危険性について講義と実習を通じて安全管理の定着を図る。 ・　不慣れなことが想定される作業機の運転について、フロントローダーとトレーラーけん引、作業機脱着に関する補講を実施する。	教務部各班 教務課 教務部各班 教務部各班 教務部各班
	(2) 基礎学力不足の学生対応・生活指導	**＜学生対応の充実・強化＞** **○　授業の充実** ・　理解度が低い学生に対する補講を行う。 **○　基礎学力不足の学生に対する対応の強化** ・　基礎学力不足の学生に対する科目（基礎数学）を創設し、学力向上を目指す。	 教務部各班 教務課

		○　学生一人一人に対応した学生指導及び進路指導の実施 ・　学生の卒業後における新規就農や就職に向けた支援を図るため、道内市町村や関係企業の協力を得てキャリアサポートを行う。特に、非農家出身学生については、就農や就職など個人の希望を聴きながら、時間をかけて面談を行うなど重点的に指導助言を行う。 ・　交通安全及び事故防止の徹底を図るための講話を行う。 ・　社会保障制度の理解を向上するため、年金制度に関する講話を行う。 ・　日常生活における防犯意識を高めるため防犯教室を行う。 ・　学生個々の卒業後の生活設計に合わせて、進学及び就職ガイダンスを行う。 ・　就農を希望する学生を支援するため、就農相談会等を行う。 ・　求人情報の掲示などの進路情報の充実を図るとともに、学生への面談を通じて進路指導を行う。 ・　学生個々の課題設定を踏まえて、先進農家体験学習の研修先に関する個別指導を実施する。 ・　アグリサポート演習を履修する学生に対しては、模擬試験や模擬面接の実施など就職活動の支援を行う。 **○　複数職員による演習・実習における指導の充実** ・　実習、演習を中心に複数職員による学生指導（チームティーチング）を行い、経過については、随時確認する。 **○　学生会、各委員会など学生自治活動の推進** ・　学生会、各委員会などの学生自治活動を推進する。なお、行事運営を初めて対応する職員や学生も多いため、新たな行事の企画・運営方法を改めて検討する。	教務部各班 教務課 教務部各班 教務課
	(3) 職員の自己評価取組の改善	**＜職員個々のＰＤＣＡサイクル＞** **○　職員ごとの改善目標の設定** ・　短期、中期、長期の課題意識を教務係内で共有し、次年度に向けた計画立案に繋げる。 ・　前年度実績を踏まえた改善目標及び具体的取組事項を設定して取組を行う。 ・　職員自らが行う自己評価と、管理職員による個人面談により、改善目標の取組成果の検証を行う。 ・　教育研修業務に関わる職員全員が、前年度実績を踏まえた改善目標及び具体的取組事項を設定し、取組を行う。	 全職員

		○　職員の研修ニーズに応じた研修会の実施 ・　教務部の管理職会議（教務部長、教務課長、主任講師）を開催し、職員ニーズを踏まえた効果的な職員研修を行う。	教務部各班
魅力ある教育・研修づくりと情報発信の強化	**(1) 教育・研修内容の充実**	**＜時代や地域の要請に応える教育の推進＞** **○　学生自らが考える６次産業化の実践** ・　６次産業化実践論及び６次産業化実践実習で加工品の開発に取り組むなど内容の充実を図る。 ・　農畜産加工・起業概論において、起業化に向けた知識や技術の習得など内容の充実を図る。 ・　学生自らが商品を開発し販売することにより、経営理念や商品のコンセプトづくりなど実践的な教育を行う。 ・　食品ＨＡＣＣＰの実践が義務づけられたことに伴い、食の安全・安心に関する教育内容の充実を図る。 **○　地域と連携した交流授業の充実・拡大** ・　農大で生産された農産物を、本別町内の道の駅やスーパーなどで販売する。 ・　野菜即売会や農大市を実施する。 ・　先進的なＧＡＰ認証農場の視察を実施する。 ・　スマート農業を実践している農業者を招聘し、事例紹介を行う。 ・　帯広調理師専門学校の学生に対し、収穫体験を実施する。 **○　先進的な農業機械を導入した演習の充実** ・　農機具メーカーの技術者などを外来講師に招聘し、先端技術を活用した農業機械やソフトウエアの操作等に関する技術講習を行う。 ・　ドローンの活用方法やトラクターのＧＮＳＳガイダンスシステム及び自動操舵システムなど、ＩＣＴを活用したスマート農業機械の操作方法を習得するための演習を行う。 ・　農業機械の基本操作や農作業安全に対する意識の向上を図るため、外来講師等による農業機械の操作・整備・安全作業に関する研修を行う。 ・　家畜繁殖管理システム（ファームノートカラー・ヒータイム）の特徴と活用優良事例について調査し、学生における内容理解の促進を図る。 **○　農業のグローバル化や多様な実需者ニーズへの対応を踏まえた実践教育の充実** ・　農場ＨＡＣＣＰに基づく生産管理手法を取り入れた農場運営を通じて、輸出にも対応できる生産管理や衛生管理に関する教育を行う。 ・　ＧＡＰによる生産管理の実践的な教育を充実するため、認証を受けたＡＳＩＡＧＡＰをベースに授業	教務部各班 教務部各班 教務部各班 教務部各班

		や実習での生産行程管理を指導する。 ・　有機ＪＡＳ認証を取得した有機農業の実践や、クリーン農業に関する授業を通じて、環境と調和した農業生産に係る実践的な教育の充実を図る。 **○　ＩＣＴ等を活用したスマート農業に関する研修の充実** ・　スマート農業の指導者を育成するため、ＩＣＴに係る研修会を実施する。	教務部研究・研修班
	(2) 農大情報の発信	**＜情報発信力の強化＞** **○　情報基盤のあり方の検討** ・　行政コミュニケーション基盤の整備や校内ＬＡＮサーバの更新に合わせ、パソコンの整備計画を検討する。 **○　高校、普及センター、関係機関とのネットワークの拡充・強化** ・　学生募集に向けた情報を発信するため、学校案内やリーフレットを道内農業者や高校等への配付を行う。 ・　農業をめざす高校生の進路サポートを行うため、全ての農業改良普及センターと連携して、道内各地で高校生を対象とした進学相談会を行う。 ・　農大生の卒業後の就農促進に向けた取組を検討するため、市町村等の地域担い手育成センターを訪問し、新規就農や雇用就農など担い手の育成確保に関する情報交換を行う。 **○　ウェブサイトやFacebookを活用した積極的な情報発信と掲載内容の充実** ・　ウェブサイトやFacebook、Instagramを定期的に更新するなど、情報発信を積極的に行う。 【主な掲載情報】 各種行事、研修状況、学生募集状況、学生の取組、農大祭・即売会における販売品目のＰＲ ・　魅力あるウェブサイトとするため、情報量及び質の向上を図るとともに、更新回数を増やすなどの改善を行う。 **○　在校生や卒業生などの活躍情報の発信** ・　各種刊行物や本別町の広報誌に、農大や学生に関する記事を掲載するなどして、情報の発信を行う。 【掲載誌】 同窓会の会報（12月発行） 父母の会の会報（1月発行） 本別町広報誌（4月・6月・9月・2月掲載） ・　同窓会の総会や役員会において、卒業生や在校生に関する情報の積極的な提供を行う。 **○　研修受入農家や各地域の指導農業士への情報提供**	情報委員会 教務課 教務部各班 総務課 教務課 教務部各班 教務課 教務部各班 教務部各班

		・　養成課程の先進農家体験学習などの巡回指導に際して、受入農家へ農大の情報提供を行う。 **○　新しい技術を導入した授業・研修内容のＰＲ** ・　北海道農業普及学会において、農大における授業や研修の内容等の情報発信を行う。 **○　マスメディアの活用による情報発信** ・　入校式や卒業式、キャリアサポート、農大祭等の校内行事のほか、プロジェクト発表やＧＡＰ、農場ＨＡＣＣＰ、一般研修等の農大の取組を積極的に報道機関へ情報提供を行う。 **＜入校志願者・研修対象者＞** **○　学生確保等に向けた高校・大学等への積極的な情報発信** ・　養成課程及び稲作専攻コースの学生確保に向けて、高校訪問により本校教育の説明を行う。 ・　農業高校では農業情勢等の説明会や進学相談会を行う。 ・　近年、普通高校からの受験生が増加傾向にあることから、入校実績のある高校を重点に普通高校に対し、受験者確保のためＰＲ活動を強化する。 ・　研究課程の学生確保に向けて、短大・専門学校への訪問により本校教育の説明を行う。 ・　高校からの要望に応じて、農業機械研修の受入れを行う。 **○　オープンキャンパスや進学相談会等の充実** ・　農業をめざす高校生の進路サポートを行うため、全ての農業改良普及センターと連携して、道内各地で高校生を対象とした進学相談会を行う。【再掲】 ・　農業高校では農業情勢等の説明会や進学相談会を行う。【再掲】 ・　農大に関心のある高校生等を対象に、農大内の施設や取組内容、在校生の意見に触れて理解を深めてもらうためのオープンキャンパスや学校見学会を行う。 **○　研修希望者等へのウェブサイトによる情報提供** ・　研修希望者や関係機関に対して、受講案内や願書の配付などウェブサイトでの情報提供を行う。併せて、研修ごとの受講申込状況をウェブサイトに掲載し、情報提供を行う。	教務部各班 教務課 教務部各班 教務課 教務部研究・研修班 教務課 総務課 教務部各班 教務課 教務部各班
魅力ある教育環境づくり	(1) 教育・実習施設等の計画的な整備の推進	**＜教育研修施設の充実＞** **○　適切な施設等の維持管理** ・　施設等の破損箇所の修繕については、施設整備計画に基づき、計画的な修繕を行うほか、突発的な故障等への対応を行う。 【工事】	総務課

		２番教室エアコン設置工事 農場、実習区域の立木伐採工事 【点検等】 受水槽清掃 地下タンク定期点検清掃 簡易専用水道法定点検 ・　施設の適切な保守管理を行うため、次の業務について民間委託を行う。 【業務委託】 庁舎警備、庁舎清掃、ボイラー保守、自家用電気工作物保守、消防設備保守、浄化槽点検 **○　老朽化した実習用機械の計画的な更新** ・　老朽化した備品や実習用機械等の計画的な更新を行う。 【更新】 《備　品》パステライザー、 スチームコンベクションオーブン 《リース》普通型コンバイン	総務課
		＜学生の生活環境の充実＞ **○　学生寮の計画的な改修の推進** ・　学生の生活環境の充実のため、次のとおり学生寮の修繕を行う。 研究科寮２階仕切りドア設置工事 **○　施設の有効活用を図るための長寿命化の推進** ・　建設部と連携し実施した長寿命化診断に基づき、次の改修工事を行う。 【聖峰寮】長寿命化改修 【新館寮】外壁、屋上防水及び内装の改修、照明のLED 化改修 **○　男子寮の建て替え検討** ・　施設の劣化が著しく、改修による長寿命化や計画修繕の対象外とされた「聖鍬寮」の建て替えについて、整備構想の策定を行う。また、基本的な考え方昨年度方針を決定した希望入寮制の導入及び男子寮の個室化について、令和７年度の導入に向け、具体的な検討を行う。	総務課 総務課 総務課 教務課
		＜計画的な施設整備の推進＞ **○　中長期的な施設整備計画に基づく施設等の整備推進** ・　昨年度取りまとめた大規模改修計画に基づき、建設部と連携の上、乳牛舎ほか 13 施設の改修（改修工事６施設、LED 化工事８施設）に係る実施設計を行う。また、令和７年度改修工事に向けた施設整備計画を作成し、建設部と連携の上、計画的な改修工事を取り進める。	総務課 教務課 教務部各班